Pioneer

取扱説明書

Bluetooth/USB/チューナーメインユニット

MVH-590
MVH-390

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。
登録は弊社ホームページにて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。
http://pioneer.jp/support/members/
なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。
弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。
必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

お買い上げいただきありがとうございます

- ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

carrozzeria

安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。**

警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ **お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。**

注意（警告を含む）しなければならない内容です。	必ず行っていただく強制の内容です。
禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

AU-001-002

接続・取り付け

 警告

禁止

本機は、DC12V⊖アース車専用です
24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告

禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す
⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

警告

強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

注意

禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。

強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

警告

禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

警告

禁止

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。

分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。

強制

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意

禁止

本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。

強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

指のケガに注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する

ケガの原因となることがあります。

電池は正しく使う

警告

強制

事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

電池の極性（⊕、⊖）に注意し、表示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

警告

強制

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。

注意

禁止

電池をショートさせたり、分解・加熱をしたり、火や水の中に入れない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。

指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

強制

使いきった電池はすぐに交換する

液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告

強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口に相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

目次

はじめに

本機の特徴

■USB 機器の接続

USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB Mass Storage Class 対応の USB メモリーに収録された WMA ／ MP3 ／ WAV ファイルを再生できます。

対応する USB 機器や接続時のご注意については、*P41* をご覧ください。

■iPod の接続

本機側からの操作はもちろん、iPod 側からの操作も可能で、スムーズな選曲が実現できます。再生中の iPhone または iPod touch のアプリケーションを、本機で操作することもできます。

対応する iPod や接続時のご注意については、*P41* をご覧ください。

■Bluetooth 機器の接続

Bluetooth 機器を使ってオーディオ機能を使用したり、携帯電話を使用してハンズフリー通話ができます。

- 本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON(または ACC)にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

- バッテリー上がりで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットチャンネル *(→ P14)*、時計 *(→ P29)*、オーディオ調整 *(→ P25)* などの設定内容は消去されます。消去された場合は、再設定してください。オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。

電源の ON ／ OFF と最初の設定

本体の取り付け後、初めて電源を立ち上げたときに、セットアップメニューが自動で起動します。

1 電源をONにする

SRC/OFF ボタン *(→ P9)* を押します。

2 セットアップメニューを実行する

ディスプレイに「SET UP」と表示されたら、ロータリーコマンダー *(→ P9)* を回して YES を選び、ロータリーコマンダーを押します。

- セットアップメニューを実行しない場合は、NO を選びます。
- NO を選んだときや、約 30 秒間何も操作せずにセットアップメニューが解除されたときは、今後セットアップメニューでの設定はできません。その場合は、システムメニューで設定してください *(→ P29)*。

3 時計を合わせる

ロータリーコマンダーを回して、時を合わせます。ロータリーコマンダーを押して分に切り換え、ロータリーコマンダーを回して分を合わせます。ロータリーコマンダーを押します。

4 セットアップメニューを終了する

ディスプレイに「QUIT」と表示されたら、ロータリーコマンダーを回して YES を選び、ロータリーコマンダーを押します。

- 設定画面に戻る場合は、NO を選びます。

5 電源をOFFにする

SRC/OFF ボタンを長く押します。

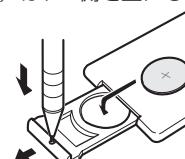
リモコンの準備（MVH-590 のみ）

付属のリモコンを使うための準備です。

電池はあらかじめセットされています。電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてお使いください。

リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

■電池交換のしかた

リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出して古い電池を取り出します。新しいリチウム電池（CR2025）は、＋側を上にしてセットします。

- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
- 本機に付属の電池は、日光や火気など過度の熱が当たる場所に置かないでください。

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外す（デタッチ）ことができます。

- フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- 取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- 落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- 分解しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- 汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その際、フロントパネルおよび本体の端子部には触らないでください。接触不良の原因となることがあります。
- デタッチを行うときは、フロントパネルからAUX/USB ケーブルを取り外してください。取り外さなかった場合は、機器や車両の備品が破損するおそれがあります。
- 安全のため、停車してからデタッチを行ってください。

■フロントパネルの取り外しかた

1 デタッチボタンを押して、ロックを解除する

2 フロントパネルの右側を上げ（I）、手前に引いて取り外す（II）

フロントパネルが外れます。

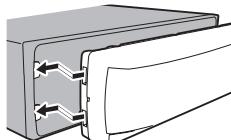
3 フロントパネルを保管する

取り外したフロントパネルは、ケースなどに入れて保管してください。

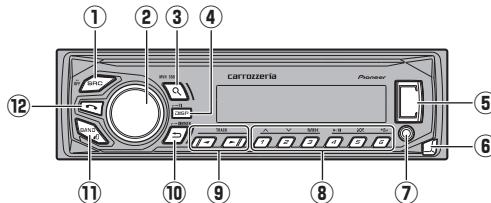
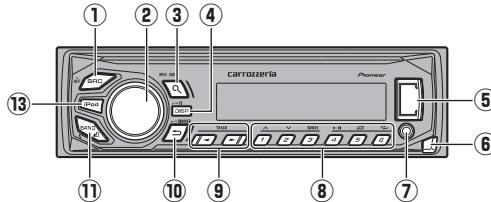
■フロントパネルの取り付けかた

1 フロントパネルの左側を本体にあわせる

フロントパネルを本体の左側に確実に合わせてください。

2 フロントパネルの右側を押して、本体に取り付ける

各部のなまえと主な働き

■本体

MVH-590

MVH-390

① SRC/OFF ボタン

押すと、電源が ON になります。

長く押すと、電源が OFF になります。

電源 ON のときは、押すごとにソースが切り換わります *(→ P13)*。

- USB や iPod を接続した場合も、電源が ON になります。
- 本機のアンテナコントロール線の接続状態によっては、ラジオが受信できない場合があります *(→ P34)*。また、オートアンテナ車のアンテナを下げる場合は、電源を OFF にしてください。
- 時計を表示させている場合、電源が OFF でも時計を表示します。

② ロータリーコマンダー

左右に回して音量を調整します。交通情報を受信中に調整した場合、交通情報用の音量として設定できます。

長く押すと、音声認識モードに入ります。音声認識モードで長く押すと、解除されます *(→ P32)*（MVH-590 のみ）。

ハンズフリー着信時に押すと、電話がつながります *(→ P23)*（MVH-590 のみ）。

リストやメニュー画面を表示しているときは、左右に回して項目を選び、押して決定します。

③ 🔍ボタン

音楽データや圧縮オーディオ再生時：

曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧（ファイル／フォルダーリスト）を表示します。

iPod 再生時：

ブラウズモードに切り換わります。

ブラウズモード中に押すと、アルファベットサーチモードに切り換わります。

④ DISP/TI ボタン

ソース再生時：

ディスプレイの表示を次のように切り換えます。

ラジオ

FREQUENCY（バンド名 / 周波数表示）
↓
CLOCK（ソース名 / 時計表示）
↓
FREQUENCY(バンド名/周波数表示)に戻る

USB

TRACK INFO（トラックタイトル / トラックアーティスト名 / アルバムタイトル）※
↓
FILE INFO（ファイル名 / フォルダー名）※
↓
ELAPSED TIME(トラック番号 / 再生経過時間)
↓
CLOCK（ソース名 / 時計表示）
↓
SPEANA（スペアナ表示）
↓
TRACK INFO(トラックタイトル / トラックアーティスト名 / アルバムタイトル)※ に戻る

※ 自動で表示が切り換わります。

iPod

TRACK INFO（曲名 / アーティスト名 / アルバムタイトル）※
↓
ELAPSED TIME（トラック番号 / 再生経過時間）
↓
CLOCK（ソース名 / 時計表示）
↓
SPEANA（スペアナ表示）
↓
TRACK INFO（曲名 / アーティスト名 / アルバムタイトル）※ に戻る

※ 自動で表示が切り換わります。

APP

TRACK INFO（曲名 / アーティスト名 / アルバムタイトル）※
↓
APP NAME（APP 名）
↓
TIME（再生経過時間）
↓
CLOCK（ソース名 / 時計表示）
↓
SPEANA（スペアナ表示）
↓
TRACK INFO（曲名 / アーティスト名 / アルバムタイトル）※ に戻る

※ 自動で表示が切り換わります。

BT AUDIO（MVH-590 のみ）

DEVICE INFO（機器名称）
↓
TRACK INFO（トラックタイトル / トラックアーティスト名 / アルバムタイトル）※
↓
ELAPSED TIME（トラック番号/再生経過時間）
↓
CLOCK（ソース名 / 時計表示）
↓
SPEANA（スペアナ表示）

※ 自動で表示が切り換わります。

電源 OFF 時：

ディスプレイに時計が表示されます。

長く押すと、高速道路などで放送されている交通情報を受信します。

ふだんの画面時：

長く押すと、高速道路などで放送されている交通情報を受信します。交通情報受信時に押すと、周波数表示と時計表示が切り換わります。

⑤ USB ポート

カバーを開け、ケーブルを使って USB 機器や iPod、MTP 対応の Android 機器を接続します。

⑥ デタッチボタン

フロントパネルが外れます。

⑦ AUX 入力端子

外部機器（AUX）を接続します。3.5 mm φ ステレオミニジャックをお使いください。

⑧ 1/∧～ 6/⇄ ボタン

プリセットボタンとして以外で使用：

1/∧（アップ）ボタン

USB、iPod ソースのときに押すと、次のフォルダーやアルバムに切り換わります*(→ P13)*。

APP ソースのときに押すと、再生アプリケーションによって、高評価の書き込みができます。

2/∨（ダウン）ボタン

USB、iPod ソースのときに押すと、前のフォルダーやアルバムに切り換わります*(→ P13)*。

APP ソースのときに押すと、再生アプリケーションによって、低評価の書き込みができます。

3/MIX ボタン

USB、iPod ソースのときに押すと、MIXTRAX 機能が ON/OFF 切り換えできます*(→ P31)*。

4/▶／❚❚（再生 / 一時停止）ボタン

USB、iPod、APP、BT AUDIO ソースのときに押すと、再生 / 一時停止できます*(→ P16)*。

5/⤨（ランダム）ボタン

USB、BT AUDIO ソースのときに押すと、ランダムプレイを ON/OFF できます*(→ P15)*。

iPod ソースのときに押すと、シャッフル再生の切り換えができ、長く押すと全曲シャッフル再生します*(→ P18)*。

6/⇄（リピート）ボタン

USB、iPod、BT AUDIO ソースのときに押すと、再生範囲の設定を切り換えることができます*(→ P15)*。

プリセットボタンとして使用：

各ボタンに放送局を登録し、押すと受信できます *(→ P14)*。

各ボタンに電話番号を登録し、押すと電話をかけることができます *(→ P24)*（MVH-590のみ）。

⑨ ◀/▶ ボタン

ラジオ受信時：

押すと、周波数を手動で選局し、押すたびに周波数を送ります。

長く押すと、受信可能な放送局が見つかるまで自動で周波数を送ります。

押し続けると、途中の放送局を飛ばし、離したところから自動選局を開始します。

プリセットチャンネル（登録した放送局）を選ぶ場合は、ボタンの動作設定を「PCH」に設定します *(→ P14)*。この場合、プリセット番号順に選局します。

交通情報受信時：

1 620 kHz ／ 1 629 kHz が切り換わります。

USB ／ iPod ／ APP 再生時：

押すと、曲が切り換わります。

押し続けると、早送り／早戻しを行います。

再生しているオーディオブック、Podcast やビデオファイル（コントロールモード中）などにチャプターがある場合、押してチャプターが選べます。

- 早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。

⑩ ⮌ /DIMMER ボタン

USB ／ iPod ／ APP のリスト表示中：

前のリスト（1 つ上の階層のフォルダー）に戻ります。長く押すと、最上位の階層に戻ります。

メニュー画面や項目リストのアルファベット検索画面を表示しているとき：

1 つ前の画面に戻ります。

- VBR（可変ビットレート）で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。
- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- WMP11 を使用して WAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示できます。
- MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

ふだんの再生画面時や電源 OFF の時計表示中：

夜間のディスプレイの明るさを切り換えます。長く押すごとに ON/OFF が切り換わります *(→ P30)*。

⑪ BAND/ ボタン

ラジオ受信時：

バンドを次のように切り換えます。

FM-1 → FM-2 → AM-1 → AM-2 → FM-1 に戻る

放送局リストを表示している場合は、ふだんの受信画面に戻ります（30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。

USB ／ iPod のリスト表示中：

ふだんの再生画面に戻ります（30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。

長く押すとフォルダー 01（ROOT）に戻ります。フォルダー 01（ROOT）にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

マスストレージクラス対応のメモリデバイスが複数ある USB の再生時：

再生するメモリデバイスを切り換えます。切り換えられるメモリデバイスの数は 32 までです。

iPod 再生時：

「コントロールモード」の設定を切り換えます *(→ P17)*。

APP ソース時：

iPhone ／ iPod touch やスマートフォンのアプリケーションで再生中の曲を、一時停止します。もう一度押すと、再生が再開します。

メニュー画面を表示しているとき：

メニューを解除します。（初期設定メニューや電源 OFF の状態から操作したシステムメニューを解除すると、電源が OFF になります。）

MIXTRAX 演出画面を表示中：

表示を解除し、通常の画面表示に切り換えます。

BT AUDIO ソース時（MVH-590 のみ）：

ふだんの再生画面で押すと、再生が始まります。

音声認識モード時（MVH-590 のみ）：

押すと音声認識モードを解除します。

⑫ ボタン（MVH-590）

ソース再生時：

押すと PHONE メニューを表示します *(→ P23)*。長く押すと、Bluetooth 接続メニューを表示します *(→ P21)*。

ハンズフリー着信時 / 通話時：

長く押すと着信を拒否 / 押すと通話を切断します *(→ P23)*。

⑬ **iPod ボタン**（MVH-390）

iPod ソースのときに押すと、コントロールモードの設定が切り換わります *(→ P17)*。

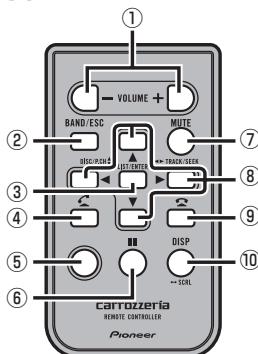
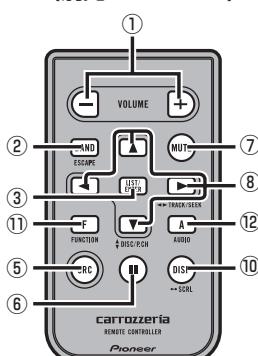
iPod ソースで、メニューやブラウズ表示がされているときに押すと、ふだんの再生画面に戻ります。

■リモコン

MVH-590 にはリモコンが付属し、リモコンで本機を操作できます。

MVH-390 は別売のリモコン「CD-R500」で、本機を操作できます。

別売のリモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。

MVH-590

MVH-390（別売 CD-R500）

① **VOLUME ボタン**

音量を調整します。

② **BAND/ESC ボタン**

本体の⑪と同じ働きをします。

③ **LIST/ENTER ボタン**

本体の③と同じ働きをします。

④ **OFF HOOK ボタン**

ハンズフリー着信時に押すと、電話がつながります。

⑤ **SRC（SOURCE）ボタン**

本体の①と同じ働きをします。

⑥ **II（ポーズ）ボタン**

再生を一時停止します。

⑦ **MUTE ボタン**

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音を消せます。

もう一度押すと、解除されます。

⑧ **▲/▼/◀/▶ ボタン**

◀/▶ ボタンは USB ／ iPod 再生時に、本体の⑨と同じ働きをします。ラジオ受信時は、本体の⑨の動作設定が「MAN」に設定されている場合の⑨と同じ働きをします。

▲/▼ ボタンは各種メニューの項目でリストを選択できます。▶ボタンで項目を決定、◀ボタンで前の画面に戻ります。ラジオ受信時は、押すとプリセット番号順に選局します。押し続けると、プリセット番号を順番に送り、離したところのプリセット番号を選局します。ハンズフリー通話時に押すと、通話を切断します。

⑨ **ON HOOK ボタン**

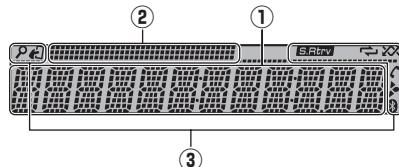
ハンズフリー着信時に長く押すと、着信を拒否します。

⑩ **DISP/SCRL ボタン**

本体の④を押したときと同じ働きをします。長く押すとディスプレイが暗くなります。

⑪ **FUNCTION ボタン**

⑫ **AUDIO ボタン**

■ディスプレイ

① メイン表示部

ソースやメディア・圧縮フォーマットなどによって、異なる情報を表示します。

ラジオ：バンドと周波数

WMA ／ MP3 ／ WAV、iPod、APP：
トラック番号と再生経過時間

各種メニュー：各種の設定内容などを表示します。

② サブ表示部

再生音と連動するレベルメーターを表示します。

③ インジケーター表示部

再生状態などを表示します。

	リストを表示しているときに点灯します。
S.Rtrv	アドバンスド・サウンドレトリバーの設定が ON のときに点灯します。
	ランダム再生時に点灯します。 iPod でシャッフルプレイまたは全曲シャッフルをしているときに点灯します。
	リピート再生時に点灯します。
	iPod から操作できるときに点灯します。
	自動着信設定が ON のときに点灯します。(MVH-590 のみ)
	メニュー表示で下位階層があるときに点灯します。
	Bluetooth 機器接続時に点灯します。(MVH-590 のみ)

ソース切り換え

ソースとは、SRC/OFF ボタンを押すと切り換わる、ラジオや USB などの音源のことです。

1 本機の電源をONにする（→*P7*）

2 ソースを切り換える

SRC/OFF ボタンを押すごとに切り換わります。

RADIO (FM/AM) → USB ／ USB MTP ／ iPod → APP（iPhone/iPod touch アプリケーション）→ AUX（外部機器）→ BT AUDIO（Bluetooth オーディオ）(MVH-590 のみ) → RADIO (FM/AM) に戻る

- 次の場合、該当のソースには切り換わりません。
  - 対応する機器を接続していない
  - AUX ソースを OFF にしている *(→ P29)*

フォルダー／アルバム／放送局の選択

圧縮オーディオ再生時は、フォルダーが選べます。

iPod 再生時は、アルバムが選べます。

ラジオ受信時は、放送局が選べます。

次のフォルダー／アルバム／放送局を選ぶ

1/∧ ボタンを押します。

前のフォルダー／アルバム／放送局を選ぶ

2/∨ ボタンを押します。

- 圧縮オーディオファイル再生時は、BAND/ボタンを長く押すと、フォルダー 01（ROOT）に戻ります。フォルダー 01（ROOT）にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

曲／ファイルの選択

次の曲／ファイルを選ぶ

► ボタンを押します。

前の曲を選ぶ

◄ ボタンを押します。

早送り／早戻し

早送りする

► ボタンを押し続けます。

早戻しする

◄ ボタンを押し続けます。

- 圧縮オーディオファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR（可変ビットレート）で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

ファンクションメニューの操作

現在選択中のソースに応じた便利な機能を使うことができます。

1 ファンクションメニューを表示する

電源 ON の状態で、ロータリーコマンダーを押します。

ロータリーコマンダーを回して FUNCTION を選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

ラジオの場合：[BSM] ⇔ [SEEK]

USB の場合：[S.RTRV]

iPod の場合：[AUDIO BOOK] ⇔ [S.RTRV]

APP の場合：[PAUSE] ⇔ [S.RTRV]

BT AUDIO の場合（MVH-590のみ）：
[PLAY]⇔[STOP]⇔[S.RTRV]

機能名	動作内容
S.RTRV	デジタル信号処理を用いて圧縮音楽の音質を補正する機能です。失われた音を補間して、高音質再生を実現します *(→ P16)*。操作方法は USB、iPod、APP で共通です。
BSM	受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます *(→ P14)*。
SEEK	ラジオソース時の ◀/▶ ボタン動作を設定できます *(→ P14)*。
AUDIO BOOK	オーディオブックの再生中に、オーディオブックの再生速度を変更できます *(→ P18)*。 コントロールモードを iPod に設定しているときは選択できません。
PAUSE	APP ソース時、曲の再生を一時停止できます *(→ P19)*。
PLAY	BT AUDIO の再生が始まります。
STOP	BT AUDIO の再生が停止します。

ラジオを聞く

画面例（MVH-590）

FM1 795

放送局を 1 局ずつ登録する

1/∧ ～ 6/⇆ のボタンを使って、よく聞く放送局を 1 局ずつ手動で登録できます(プリセットチャンネル)。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 登録するバンド、登録したい放送局を選ぶ *(→P14)*

2 放送局を登録する

1/∧ ～ 6/⇆ のボタンを長く押します。

登録動作中にプリセット番号が点滅します。

登録が完了するとプリセット番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

複数の放送局を自動的に登録する

1 登録するバンドを選ぶ *(→P9)*

2 ファンクションメニューから [BSM] を選ぶ *(→P14)*

3 自動登録を開始する

ロータリーコマンダーを押します。

登録が完了すると、1 の番号に登録された放送局を受信します。

- BSM とは、「Best Stations Memory（ベストステーションズメモリー)」の略です。
- バンドごとに放送局を 6 局ずつ登録できます。
- 受信状態の良い放送局が 6 局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

◀/▶ ボタンの動作を設定する

1 ファンクションメニューから[SEEK] を選ぶ *(→P14)*

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに切り換わります。

[MAN] ⇔ [PCH]

機能名	動作内容
MAN	手動で選局する。
PCH	登録した放送局を切り換える。

USB を聞く

画面例

- 本機は、接続された USB 機器から情報を読み取ります。この間、画面には、「FORMAT READ」と表示されます。USB 機器の情報量によっては、再生までに時間がかかる場合があります。
- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチが ACC または ON になっているときに USB 機器のバッテリーが充電されます。
- USB 機器を接続したまま、電源を OFF にしたり他のソースに切り換えることができます。
- USB 機器は、いつでも取り外すことができます。
- USB 機器を取り外すことで、再生を終了することもできます。
- MTP 対応の Android 機器 (Android OS 4.0 以上搭載) は、USB ソースで MTP 接続ができます。Android 機器に付属のケーブルを使って接続します。

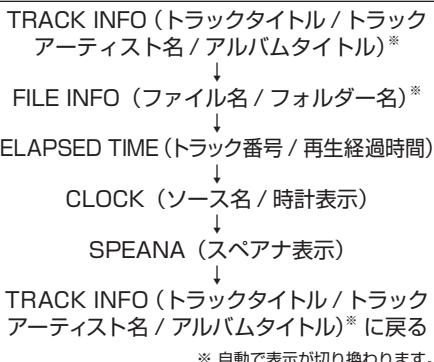
タイトルやアーティスト名を表示する

トラックタイトルやフォルダー名、アーティスト名などを表示できます。

1 表示を切り換える

DISP/TI ボタンを押すごとに切り換わります。

TRACK INFO（トラックタイトル / トラックアーティスト名 / アルバムタイトル）※
↓
FILE INFO（ファイル名 / フォルダー名）※
↓
ELAPSED TIME（トラック番号 / 再生経過時間）
↓
CLOCK（ソース名 / 時計表示）
↓
SPEANA（スペアナ表示）
↓
TRACK INFO（トラックタイトル / トラックアーティスト名 / アルバムタイトル）※ に戻る

※ 自動で表示が切り換わります。

- タイトル名などが収録されていない場合、表示を切り換えると、「NO TITLE」や「NO NAME」などが表示されます。
- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- WMP11 を使用して WAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示できます。
- MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

タイトルから曲やフォルダーをさがす

圧縮オーディオの再生中に、曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧（ファイル／フォルダーリスト）を見ながら､聞きたい曲､ファイル､フォルダーを選べます。

1 ファイル／フォルダーリストを表示する

🔍ボタンを押します。

2 曲名、ファイル名、フォルダー名を切り換える

ロータリーコマンダーを回します。

3 フォルダー内のフォルダー／ファイルを表示する

フォルダー表示時に、ロータリーコマンダーを押します。

再生したい曲／ファイルが見つかったら、ロータリーコマンダーを押します。

- フォルダー／ファイルリストは、必ず先頭・ROOT から表示されます。
- フォルダーが表示されているときにロータリーコマンダーを長く押すと、そのフォルダー内のはじめの曲から再生されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、「NO FILES」と表示されます。ロータリーコマンダーを押しても再生されません。

繰り返し再生する（リピートプレイ）

1 再生範囲を切り換える

6/ ⇄ を押すごとに切り換わります。

［ALL］→［ONE］→［FLD］→［ALL］に戻る

機能名	動作内容
ALL	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
ONE	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
FLD	いま聞いているフォルダーを繰り返し再生する。

- 選んだ再生範囲は、ランダムプレイの再生範囲に影響します。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲だけを再生します。サブフォルダー内の曲は、再生しません。

違う曲順で再生する（ランダムプレイ）

1 ランダムプレイする範囲を選ぶ

リピートプレイで選んだ範囲でランダムに再生されます （→ *P15*）。

2 設定を切り換える

5/🔀 ボタンを押すと、次の曲からランダムに再生されます。もう一度押すと OFF になります。

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、圧縮オーディオの再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。
- ランダムプレイ中に曲を変更する場合は、▶ ボタンを押して切り換えてください。◀ ボタンを押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

再生を一時停止する

4/▶／❚❚ ボタンを押すと、一時停止します。
もう一度押すと再生を再開します。

音を補正して高音質化する（アドバンスド・サウンドレトリバー）

1 ファンクションメニューから[S.RTRV]を選ぶ *(→P14)*

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに切り換わります。

［OFF］→［1］→［2］→［OFF］に戻る

- 1 は低圧縮率の音声、2 は高圧縮率の音声に適しています。
- MIXTRAX 機能を ON にすると *(→ P31)*、自動で OFF に切り換わります。メインメニューの FUNCTION は非表示となり、設定の切り換えはできません。MIXTRAX 機能を OFF に戻すと、直前の設定に戻ります。

iPod を聞く

画面例

- iPhone/iPod touch 以外では、再生範囲が 1 曲リピートのときは、◀/▶ ボタンを押して曲を選ぶことはできません。
- iPod には指定のケーブルのみを接続してください *(→ P41)*。指定のケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。
- iPod を使用するときのご注意や iPod の設定については、*P41* をご覧ください。
- iPod を接続したまま、他のソースに切り換えることができます。
- iPod は、いつでも取り外すことができます。
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPod のバッテリーが充電されます。
- iPod の電源を OFF にするには、ケーブルを取り外します。

聞きたい曲をさがす

プレイリスト、アーティスト、アルバム、曲、Podcast（ポッドキャスト）、ジャンル、作曲者、オーディオブックの項目別リストから、お好みの曲を選んで再生できます。（ブラウズモード）

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、項目の表示に時間がかかる場合があります。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

1 ブラウズモードにする

🔍ボタンを押します。

2 項目を選ぶ

ロータリーコマンダーを回します。押すと決定します。

必要に応じて項目を絞り込んでください。

再生したい曲が見つかったら、ロータリーコマンダーを押します。

- アルファベット順に表示する項目のときに、🔍ボタンを押すと、アルファベットサーチモードになります *(→ P17)*。
- 再生したい項目を選んでいるときにロータリーコマンダーを長く押すと、その項目内の曲を最初からすべて再生できます。

リスト表示をアルファベットで検索する

項目別リスト表示中に、頭文字のアルファベットを指定して検索できます。

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベットまたは数字で記録されているものが対象です。

1 タイトルやアーティスト名などのリストを表示する *(→P17)*

2 アルファベットサーチモードに切り換える

リスト表示中に ボタンを押します。

もう一度 ボタンを押すと、アルファベットサーチモードを解除します。

- ロータリーコマンダーを２回連続で回して、入力画面を表示することもできます。

3 検索したいアルファベットを表示する

ロータリーコマンダーを回してアルファベットを選び、押します。選んだアルファベットを先頭にして、リストが表示されます。

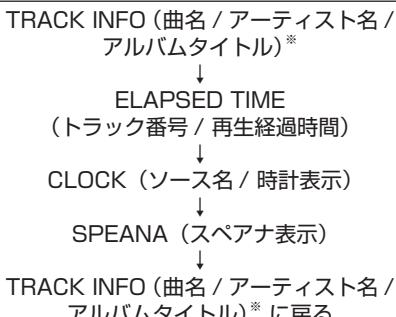
- 対象となる曲がなかったときは、「NOT FOUND」が表示されたあとリスト表示に戻ります。

タイトルやアーティスト名を表示する

操作方法は USB の場合と同じです *(→ P15)*。

切り換わる内容は以下の通りです。

TRACK INFO（曲名 / アーティスト名 / アルバムタイトル）※
↓
ELAPSED TIME（トラック番号 / 再生経過時間）
↓
CLOCK（ソース名 / 時計表示）
↓
SPEANA（スペアナ表示）
↓
TRACK INFO（曲名 / アーティスト名 / アルバムタイトル）※ に戻る

※ 自動で表示が切り換わります。

- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

iPod で選曲して本機から再生する

選曲などの操作を、本機と iPod のどちらでするか切り換えられます（コントロールモード）。

iPod に設定すると、iPod の画面で操作できます。日本語のタイトルも、そのまま見て曲を選べるので便利です。

- 対応 iPod については、*P41* をご覧ください。

1 コントロールモードを切り換える

BAND/ ボタンを押すごとに切り換わります。

［iPod］⇔［AUDIO］

機能名	動作内容
iPod	iPod で選曲などの操作をする。
AUDIO	本機で選曲などの操作をする。

- 音量は本機からしか調節できません。
- iPod に設定すると、再生は停止されます。iPod を操作して、再生してください。
- コントロールモードを iPod に設定していても、本機から次の操作ができます。
  - 一時停止
  - 選曲
  - 早送り／早戻し
  - S.RTRV 機能の設定
- コントロールモードを AUDIO に設定した場合、iPod は本機に接続されている間、iPod 自身で電源を OFF することはできません。
- コントロールモードは iPod ボタンを押して切り換えることもできます（MVH-390 のみ）。

繰り返し再生する（リピートプレイ）

操作方法は USB の場合と同じです *(→ P15)*。

切り換わる範囲は以下の通りです。

［OFF］（コントロールモード iPod 時）→［ONE］→［ALL］→［OFF］に戻る

機能名	動作内容
OFF	繰り返し再生しない。
ONE	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
ALL	いま聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生する。

違う曲順で再生する（シャッフルプレイ）

1 設定を切り換える

5/ 🔀 ボタンを押すごとに切り換わります。

［OFF］→［SNG］→［ALB］→［OFF］に戻る

機能名	動作内容
OFF	繰り返し再生しない。
SNG	いま聞いているリスト内の曲をランダムに再生する。
ALB	アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番通りに再生する。

すべての曲をシャッフルしてから再生する

1 設定を切り換える

5/ 🔀 ボタンを長く押すと、全曲シャッフル再生が始まります。

- 全曲シャッフルを解除するには、SHUFFLE で「OFF」を選びます （→ P18）。

再生中の曲にリンクした曲を再生する

再生中の曲にリンクした曲を、以下のリストから再生できます。

・再生中のアーティストのアルバムリスト
・再生中のアルバムに収録されている曲のリスト
・再生中のジャンルのアルバムリスト

- リンクのサーチ条件に関連したリストがない場合は、「NOT FOUND」と表示されます。
- 曲によっては、切り換わる際に終わりや始まりの音が切れる場合があります。

1 LINK PLAYモードに切り換える

🔍 ボタンを長く押します。

2 リンクのサーチ条件を切り換える

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。

［ARTIST］⇔［ALBUM］⇔［GENRE］

機能名	動作内容
ARTIST	再生中のアーティストの曲を再生。
ALBUM	再生中のアルバムに収録されている曲を再生。
GENRE	再生中のジャンルの曲を再生。

3 リンクのサーチ条件を選ぶ

ロータリーコマンダーを押します。現在の曲の再生が終わると、リンクした曲に切り換わります。

- リンクプレイ以外の操作を行うと、リンクプレイでの選択結果が解除される場合があります（例：早送り／早戻し）。

再生を一時停止する

操作方法は USB の場合と同じです （→ P16）。

オーディオブックの再生速度を変更する

1 ファンクションメニューから［AUDIO BOOK］を選ぶ （→P14）

2 再生速度を切り換える

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。

［NORMAL］⇔［FASTER］⇔［SLOWER］

機能名	動作内容
NORMAL	標準速度で再生する。
FASTER	やや速い速度で再生する。
SLOWER	やや遅い速度で再生する。

音を補正して高音質化する（アドバンスド・サウンドレトリバー）

操作方法は USB の場合と同じです （→ P16）。

アプリを操作する

iPhone/iPod touch またはスマートフォン（MVH-590 のみ）のアプリケーションを再生中に、本機でコントロールできます。

- 対応アプリケーションの情報については、カロッツェリアホームページ（http://carrozzeria.jp）でご確認ください。
- iPhone/iPod touch またはスマートフォン（MVH-590 のみ）やアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- iPhone/iPod touch の場合
  - iOS 5.0 以上の搭載が必要です。
  - iPhone/iPod touch には指定のケーブルのみを接続してください（→ P41）。指定のケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
  - 本機に接続する前に、iPhone/iPod touch からヘッドホンを外してください。
  - iPhone/iPod touch を使用するときのご注意や iPhone/iPod touch の設定については、P41 をご覧ください。
  - iPhone/iPod touch を接続したまま、本機の電源を OFF にしたり他のソースに切り換えたりできます。
  - iPhone/iPod touch は、いつでも取り外すことができます。
  - エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPhone/iPod touch のバッテリーが充電されます。
  - iPhone/iPod touch の電源を OFF にするには、ケーブルを取り外します。
- スマートフォンの場合
  - Android OS 2.3 以上の搭載が必要です。
  - Bluetooth のプロファイル SPP、A2DP の搭載が必要です。本機とは Bluetooth を使って接続します（→ P21）。

再生する

■iPhone/iPod touch の場合

ケーブルで本機と接続し、iPhone/iPod touch を操作して曲を再生状態にした後、本機でコントロールします。

1 APP接続設定を[WIRED]に切り換える（→P30）

2 APPソースに切り換える（→P13）

再生が始まります。

- コントロールは本機のボタンで行います。

■スマートフォンの場合（MVH-590 のみ）

本機と Bluetooth 接続し（→ P21）、スマートフォンを操作して曲を再生状態にした後、本機でコントロールします。

1 APP接続設定を [APP CONN.SET] に切り換える（→P30）

2 APPソースに切り換える（→P13）

再生が始まります。

- コントロールは本機のボタンで行います。

再生を一時停止する

ファンクションメニューを使って一時停止する方法です。

1 ファンクションメニューから[PAUSE]を選ぶ（→P14）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すと、一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

音を補正して高音質化する（アドバンスド・サウンドレトリバー）

操作方法は USB の場合と同じです（→ P16）。

BT AUDIO を聞く（MVH-590 のみ）

本機では、Bluetooth 機器を使って、Bluetooth オーディオ機能を使用できます。

画面例

- Bluetooth 対応機器を本機の BT AUDIO ソースとして初めて使用する場合、あらかじめ Bluetooth 対応機器を本機に登録しておく必要があります (→ P21)。
- BT AUDIO では、以下の Bluetooth プロファイルに対応しています。
  - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
  - AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) ver. 1.3
- iPod ソースのときには、Bluetooth オーディオ (A2DP) の接続はできません。
- 接続する Bluetooth 機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth 機器の説明書も併せてご覧ください。

再生する

1 ファンクションメニューから[PLAY]を選ぶ （→P14）

2 再生を開始する

ロータリーコマンダーを押します。

再生を停止する

1 ファンクションメニューから[STOP]を選ぶ （→P14）

2 再生を停止する

ロータリーコマンダーを押します。

音を補正して高音質化する（アドバンスド・サウンドレトリバー）

操作方法は USB の場合と同じです (→ P16)。

繰り返し再生する（リピートプレイ）

1 設定を切り換える

6/ ⇄ ボタンを押します。もう一度押すと解除されます。

違う曲順で再生する（シャッフルプレイ）

1 設定を切り換える

5/ ⤨ ボタンを押します。もう一度押すと解除されます。

- 接続した Bluetooth 機器により、再生範囲が異なる場合があります。
- ランダムプレイ中に曲を変更する場合は、► ボタンを押して切り換えてください。◄ ボタンを押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

再生を一時停止する

操作方法は USB の場合と同じです (→ P16)。

表示を切り換える

トラックタイトルやアーティスト名などを表示できます。

1 表示を切り換える

DISP/TI ボタンを押すごとに切り換わります。

DEVICE INFO（機器名称）
↓
TRACK INFO（トラックタイトル / トラックアーティスト名 / アルバムタイトル）※
↓
ELAPSED TIME（トラック番号/再生経過時間）
↓
CLOCK（ソース名 / 時計表示）
↓
SPEANA（スペアナ表示）

※ 自動で表示が切り換わります。

- 接続する Bluetooth 機器やファイルにより、表示が異なる場合があります。

Bluetooth 機器の接続（MVH-590 のみ）

BT AUDIO を聞いたり、ハンズフリー操作をしたり、スマートフォンでアプリ操作をするには、Bluetooth 接続が必要です。接続する機器側の操作方法については、接続する機器の説明書をご覧ください。

画面例

CONN MENU

- Bluetooth 機器の登録は、接続する機器側から本機を検出して簡単に行うことができます。
- 本機は、以下の Bluetooth プロファイルに対応しています。
  - GAP (Generic Access Profile)
  - OPP（Object Push Profile）
  - HFP (Hands Free Profile) ver.1.5
  - PBAP (Phone Book Access Profile)
  - A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
  - AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）ver.1.3
  - SPP（Serial Port Profile）ver.1.1

Bluetooth 接続メニューを切り換える

1 Bluetooth接続メニューを表示する

ボタンを長く押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

［DEVICELIST］⇔［DEL DEVICE］⇔［ADD DEVICE］⇔［A.CONN］⇔［VISIBLE］⇔［PIN CODE］⇔［DEV.INFO］⇔［GUESTMODE］⇔［A.PAIRING］

■ 接続する Bluetooth 機器を切り換える

Bluetooth 機器を複数台登録している場合、登録済みの Bluetooth 機器をリスト表示して、接続先を切り換えます。

1 Bluetooth接続メニューから［DEVICELIST］を選ぶ *(→P21)*

2 接続するBluetooth機器を選ぶ

ロータリーコマンダーを回します。

- ロータリーコマンダーを長く押すと、デバイス名（機器名称）とデバイスアドレスを切り換えることができます。

3 接続先を切り換える

ロータリーコマンダーを押します。
切り換わった Bluetooth 機器に、＊ が表示されます。

■ 登録済みの Bluetooth 機器を削除する

- 本機能の操作中は、エンジンスイッチを OFF にしないでください。

1 Bluetooth接続メニューから［DEL DEVICE］を選ぶ *(→P21)*

2 削除するBluetooth機器を選ぶ

ロータリーコマンダーを回します。

- ロータリーコマンダーを長く押すと、デバイス名（機器名称）とデバイスアドレスを切り換えることができます。

3 削除する

ロータリーコマンダーを押します。
確認画面が表示されます。

- 操作を中止する場合は、/DIMMER ボタンを押します。前の画面に戻ります。

4 削除を確定する

ロータリーコマンダーを押します。

メッセージの表示とともに、選んだ Bluetooth 機器が削除されます。

■ Bluetooth 機器を登録する

Bluetooth 機器を使うには、本機に Bluetooth 機器を登録する必要があります。3 台まで登録できます。

1 Bluetooth接続メニューから［ADD DEVICE］を選ぶ *(→P21)*

2 登録するBluetooth機器を選ぶ

ロータリーコマンダーを回します。
周辺の Bluetooth 機器が検索され、登録可能な Bluetooth 機器のデバイス名（機器名称）が表示されます。

- すでに 3 台の Bluetooth 機器が本機に登録されている場合、「DEVICE FULL」と表示されます。登録されている Bluetooth 機器を削除してください *(→ P21)*。
- 登録可能な Bluetooth 機器が見つからなかった場合は、「NOT FOUND」と表示されます。
- お使いの Bluetooth 機器によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、Bluetooth 機器から登録してください。検出状態の設定が、ON になっている必要があります *(→ P22)*。
- 検索中にもう一度ロータリーコマンダーを押すと、検索を中止します。

3 登録するBluetooth機器を選ぶ

ロータリーコマンダーを回します。

- 目的の Bluetooth 機器が表示されていないときは、「RE-SEARCH」を選びます。
- ロータリーコマンダーを長く押すと、デバイス名（機器名称）とデバイスアドレスを切り換えることができます。

4 選んだBluetooth機器を接続する

ロータリーコマンダーを押します。

Bluetooth 機器側にパスコードの入力が求められます。Bluetooth 機器を操作して、パスコードを入力してください。

登録が完了すると、本機のディスプレイに、「PAIRED」と表示されます。

- 工場出荷時のパスコードは、「0000」です。パスコードは変更できます（→ P22）。

■自動接続を設定する

本機能を ON にすると、登録済みの Bluetooth 機器の中で、最後に接続した機器に自動で接続できます。

1 Bluetooth接続メニューから[A.CONN]を選ぶ（→P21）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに［ON］⇔［OFF］が切り換わります。

■Bluetooth 機器からの検出状態を設定する

本機能を ON にすると、Bluetooth 機器から本機を検出できます。

1 Bluetooth接続メニューから[VISIBLE]を選ぶ（→P21）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに［ON］⇔［OFF］が切り換わります。

■本機のパスコードを変更する

工場出荷時のパスコード「0000」を変更できます。

1 Bluetooth接続メニューから[PIN CODE]を選ぶ（→P21）

2 パスコードを変更する

●入力する数字を選ぶとき

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	数字を大きくする
左に回す	数字を小さくする

●入力する位置を選ぶとき

ロータリーコマンダーを押します。

押すたびに入力する位置が右に移動します。

3 パスコードの編集を終了する

ロータリーコマンダーを長く押します。

■本機の Bluetooth 機器情報を確認する

本機の機器名称（デバイス名）や機器アドレス（デバイスアドレス）を確認できます。

1 Bluetooth接続メニューから[DEV.INFO]を選ぶ（→P21）

2 情報を確認する

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。

機器名称 ⇔ 機器アドレス

■機器削除画面自動表示設定をする

本機能を ON にすると、登録操作時すでに 3 台の Bluetooth 機器が登録されている場合、機器削除メニュー（→ P21）に自動で移ります。

1 Bluetooth接続メニューから[GUESTMODE]を選ぶ（→P21）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに［ON］⇔［OFF］が切り換わります。

■自動ペアリングを設定する

本機能を ON にすると、iPhone を USB 接続したとき、自動的にペアリングを要求します。

1 Bluetooth接続メニューから[A.PAIRING]を選ぶ（→P21）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに［ON］⇔［OFF］が切り換わります。

- iPhone 側の Bluetooth 設定が OFF の場合も動作します。
- iOS のバージョンによっては、この機能は使用できません。

携帯電話を使う（MVH-590 のみ）

本機では、Bluetooth 対応の携帯電話を使用して、ハンズフリー通話ができます。

画面例（PHONEメニュー）

PHONE MENU

- 携帯電話を使用するときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
- 初めて本機で携帯電話を使用する場合は、携帯電話を本機に登録する必要があります（→ *P21*）。
- 組み合わせる Bluetooth 対応の携帯電話によっては、操作や動作が異なります。携帯電話の取扱説明書も併せてご覧ください。

電話に出る・電話を切る

どのソースを聞いているときでも、本機の電源が OFF のときでも、かかってきた電話に出ることができます。

1 電話がかかってきたら、電話に出る

ロータリーコマンダーを押します。

電話がつながり、通話できます。

- 割込通話機能の利用には、携帯電話会社との契約が必要です。
- 割込通話中は、通話の相手を切り換えることはできますが、通話を個別に切ることはできません。
- 通話中に BAND/ ボタンを押すと、ハンズフリー通話とプライベート通話（携帯電話で通話）を切り換えることができます。
- 通話中にロータリーコマンダーを押すと、電話の保留と応答を切り換えることができます。
- 通話中に別の電話がかかってきた場合（割込通話）、ロータリーコマンダーを押すと、通話の相手が切り換わります。
- 着信中にロータリーコマンダーを回すと、着信音量を調節できます。
- 通話中に DISP/TI ボタンを押すと、通話時間と電話番号の表示を切り換えることができます。

2 受話音量を調節する

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	音量を大きくする
左に回す	音量を小さくする

3 電話を切る

ボタンを押します。

着信を拒否する

電話に出られないときは、着信を拒否できます。

1 電話がかかってきたら着信を拒否する

ボタンを長く押します。

- 通話中に別の電話がかかってきた場合も、同じ操作で着信を拒否できます。

PHONE メニューを切り換える

電話機能を PHONE メニューで選んで操作します。

1 PHONEメニューを表示する

ボタンを押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

［MISSED］⇔［DIALLED］⇔［RECEIVED］⇔［PRESET 1-6］⇔［PHONE FUNC］

- 携帯電話が接続されていないときは、MISSED、DIALLED、RECEIVED には切り換わりません。

履歴から電話をかける

接続中の携帯電話ごとに、不在着信履歴（MISSED）、発信履歴（DIALLED）、着信履歴（RECEIVED）が各 80 件まで本機に記録されます。記録された履歴データから、電話をかけることができます。

- 携帯電話によっては通話履歴が残らない場合があります。

1 PHONEメニューから[MISSED]/[DIALLED]/[RECEIVED]のいずれかを選ぶ（→*P23*）

2 履歴データを選ぶ

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	次の履歴データを選ぶ
左に回す	前の履歴データを選ぶ

プリセット登録をするときは（→ *P24*）、ここで電話番号を選択し、1/ ～ 6/ ボタンのいずれかを長く押します。

- 登録済みボタンを長く押すと、上書きされます。

3 電話をかける

ロータリーコマンダーを押します。

プリセット番号を選んで電話をかける

1/∧ ～ 6/⇄ ボタンに電話番号をプリセット登録し、1 ～ 6 のプリセット番号を選んで電話をかけます。

履歴から電話番号を選択して登録します(→ P23)。

1 PHONEメニューから[PRESET 1-6]を選ぶ(→P23)

登録済みのプリセット番号が表示されます。

2 プリセット番号を選ぶ

ロータリーコマンダーを回します。

- 1/∧ ～ 6/⇄ ボタンのいずれかを押して、選択することもできます。

3 電話をかける

ロータリーコマンダーを押します。

プリセットボタンで電話をかける

1/∧ ～ 6/⇄ ボタンに電話番号をプリセット登録し、ボタンを押して電話をかけます。履歴から電話番号を選択して登録します(→ P23)。

1 電話をかける

ボタンを押し、1/∧ ～ 6/⇄ ボタンのいずれかを押し、ロータリーコマンダーを押します。

電話機能を設定する

1 PHONEメニューから[PHONE FUNC]を選ぶ(→P23)

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと設定値が変更されます。

[A.ANSR] ⇔ [R.TONE]

■自動着信を設定する

自動着信を ON に設定すると、着信後約 5 秒で自動的に応答して通話できます。

1 電話機能から[A.ANSR]を選ぶ(→P24)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

■着信音を設定する

着信音設定を ON にすると、本機側で用意された着信音になります。

1 電話機能から[R.TONE]を選ぶ(→P24)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

音の調節

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調整機能を使うときは、オーディオメニューで機能を選んで操作します。

画面例

オーディオメニューを切り換える

1 オーディオメニューを表示する

電源 ON の状態で、ロータリーコマンダーを押します。

ロータリーコマンダーを回して AUDIO を選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

[FADER] ⇔ [BALANCE] ⇔ [EQ SETTING] ⇔ [LOUDNESS] ⇔ [SUB. W] ⇔ [SUB.W CTRL] ⇔ [BASS BOOST] ⇔ [HPF SETTING] ⇔ [SLA]

- 交通情報を受信しているときは、FADER と BALANCE 以外は調節できません。
- SUB.W CTRL は、SUB.W が OFF のときは調節できません。
- 初期設定メニューで SP-P/O MODE *(→ P28)* を SUB.W/SUB.W に設定しているときは、FADER は調節できません。
- 初期設定メニューで SP-P/O MODE *(→ P28)* を REAR/REAR に設定しているときは、SUB.W、SUB.W CTRL は調節できません。

■前後の音量バランスを調節する

前後のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1 オーディオメニューから[FADER]を選ぶ *(→P25)*

2 音量バランスを調節する

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	前を強める
左に回す	後ろを強める

前後のバランスは、F 15 ～ R 15 の範囲で調節できます。

■左右の音量バランスを調節する

左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1 オーディオメニューから[BALANCE]を選ぶ *(→P25)*

2 音量バランスを調節する

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	右を強める
左に回す	左を強める

左右のバランスは、L 15 ～ R 15 の範囲で調節できます。

■イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、お好みの音質にできます。

1 オーディオメニューから[EQ SETTING]を選ぶ *(→P25)*

2 イコライザーカーブを切り換える

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。

[FLAT] ⇔ [SUPER BASS] ⇔ [POWERFULL] ⇔ [NATURAL] ⇔ [VOCAL] ⇔ [CUSTOM1] ⇔ [CUSTOM2]

- 「CUSTOM1」と「CUSTOM2」は、お好みに合わせて調節できます。
- 「FLAT」は、イコライザーによる音の補正がされていません。他のイコライザーカーブと切り換えることで、そのイコライザーカーブの効果を確認することもできます。

■イコライザーカーブを調節する

CUSTOM1、CUSTOM2 のイコライザーカーブを補正できます。これにより、よりお好みにあった音質を作り出すことができます。

- CUSTOM1 には、調節したイコライザーカーブがソースごとに登録されます。(USB、iPod、APP は同じ設定になります。また、携帯電話(MVH-590 のみ)の通話音声と交通情報は同じ設定になります。)
- CUSTOM2 には、すべてのソースに共通したイコライザーカーブとして記憶されます。

1 「イコライザーカーブを選ぶ」手順 2 で、CUSTOM1 または CUSTOM2 に切り換える

2 周波数を選ぶ

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	高い周波数を選ぶ
左に回す	低い周波数を選ぶ

80 Hz、250 Hz、800 Hz、2.5 kHz、8 kHz の中から選べます。

3 レベル調節に切り換える

ロータリーコマンダーを押します。

4 レベルを調節する

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは－ 6 ～＋ 6 の範囲で調節できます。

■小さな音量でも聞きやすくする

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。ラウドネスは、この不足感を補って、音を聞きやすくします。

1 オーディオメニューから [LOUDNESS]を選ぶ（→P25）

2 効果音を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに切り換わります。

［OFF］→［LOW］（弱）→［MID］（標準）→［HI］（強）→［OFF］に戻る

■サブウーファーを使う

本機では、リアスピーカー端子、または RCA 出力端子に接続したサブウーファーを調節できます。サブウーファーの調節は、

①サブウーファーの位相切り換え

②サブウーファー調節の 2 つのステップで行います。

- 「SUB. W」（→ P26）を「OFF」にした場合は、「SUB. W CTRL」（→ P26）は操作できません。

■サブウーファーの位相切り換え

本機にサブウーファーを接続して使用する場合は、サブウーファーから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント／リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転（干渉）し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。
  - 正相：サブウーファーの音が、フロント／リアスピーカーと同時に出力される
  - 逆相：サブウーファーの音が、フロント／リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

1 オーディオメニューから[SUB. W]を選ぶ（→P25）

2 位相を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに切り換わります。

［NOR］→［REV］→［OFF］→［NOR］に戻る

機能名	動作内容
NOR	正相を選ぶ
REV	逆相を選ぶ
OFF	サブウーファーを接続しない

■サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節

サブウーファーから出力される低音域（カットオフ周波数）と出力レベル、スロープを設定します。他のスピーカーから出力される音とのつながりが自然になるように設定してください。

- 本機能では、選んだ周波数よりも上の周波数（または下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファーのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調することもできます。
- スロープは、周波数が 1 オクターブ高く（または低く）なったときに、信号が何 dB 減衰するかを表す値（単位:dB/oct.）です。傾きを急にすると、信号が減衰する割合が大きくなります。

1 オーディオメニューから [SUB. W CTRL]を選ぶ（→P25）

2 設定内容を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに切り換わります。

周波数設定（周波数表示が点滅）→ レベル設定（レベル表示が点滅）→ スロープ設定（減衰量表示が点滅）→ 周波数設定（周波数表示が点滅）に戻る

3 サブウーファー調節をする

周波数設定を調節するとき

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	高い周波数を選ぶ
左に回す	低い周波数を選ぶ

カットオフ周波数は、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hz、160 Hz、200 Hzの中から選べます。

レベルを調節するとき

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは、－ 24 ～＋ 6 の範囲で調節できます。

スロープを調節するとき

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	減衰量を小さくする
左に回す	減衰量を大きくする

減衰量は、－12 dB/oct. －24 dB/oct. の中から選べます。

■低い音を強調する

低音域を強調できます。バスブースターのレベルを上げると、迫力のある低音を再生できます。

1 オーディオメニューから[BASS BOOST]を選ぶ（→P25）

2 レベルを調節する

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは、0 ～ 6 の範囲で調節できます。

■低い音を出力しないようにする

選んだ周波数よりも高い音だけを、フロントスピーカー、リアスピーカーから出力します。
フロントスピーカーとリアスピーカーからは高音だけを出力し、サブウーファーからは低音だけを出力することで、各スピーカーとサブウーファーの音のつながりを自然にできます。

- 本機能では、選んだ周波数よりも下の周波数（または上の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。本設定では、カットオフ周波数よりも下の音域がカットされ、高音域だけが出力されます。
- スロープは、周波数が 1 オクターブ高く（または低く）なったときに、信号が何 dB 減衰するかを表す値（単位:dB/oct.）です。傾きを急にすると、信号が減衰する割合が大きくなります。
- ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域（低域）をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターを ON にすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節できます。

1 オーディオメニューから[HPF SETTING]を選ぶ（→P25）

2 設定内容を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに切り換わります。

周波数設定（周波数表示が点滅）→ スロープ設定（減衰量表示が点滅）→ 周波数設定（周波数表示が点滅）に戻る

3 ハイパスフィルター調節をする

周波数設定を調節するとき

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	高い周波数を選ぶ
左に回す	低い周波数を選ぶ

カットオフ周波数は、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hz、160 Hz、200 Hzの中から選べます。

スロープを調節するとき

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	減衰量を小さくする
左に回す	減衰量を大きくする

減衰量は、－12 dB/oct. －24 dB/oct. の中から選べます。

■各ソースの音量をそろえる

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違うことがあります。SLA を使うと、FM の音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。

- SLA とは、「Source Level Adjuster（ソースレベルアジャスター）」の略です。
- ラジオの FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。

1 オーディオメニューから[SLA]を選ぶ（*→P25*）

2 レベルを調節する

ロータリーコマンダーを回します。

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは－４～＋４の範囲で調節できます。

- AM ／ USB ／ iPod ／ AUX（外部機器）の音量差を調節できます。

初期／システム設定

「リア出力を設定する」や「時計を合わせる」などの設定は、初期設定メニューまたはシステムメニューで操作します。

初期設定メニューは、電源を OFF にした状態で操作します。システムメニューは、電源を OFF にした状態でも、ON にした状態でも操作できます。

画面例（初期設定メニュー）

INITIAL

初期設定メニューを切り換える

1 本機の電源をOFFにする（*→P7*）

2 初期設定メニューを表示する

ロータリーコマンダーを押します。

ロータリーコマンダーを回して INITIAL を選び、押します。

3 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと決定します。

［SP-P/O MODE］⇔［S/W UPDATE］

■ リア出力を設定する

リアスピーカー出力と RCA 出力には、フルレンジスピーカーまたはサブウーファースピーカーを接続できます。それぞれの接続状態に合わせて設定します。

① **リアスピーカー出力にフルレンジスピーカーを接続し､RCA 出力にサブウーファースピーカーを接続する：**

「REAR/SUB.W」に設定します。

② **リアスピーカー出力にフルレンジスピーカーを接続し、RCA 出力に何も接続しない：**

「REAR/SUB.W」または「REAR/REAR」に設定します。

③ **リアスピーカー出力と RCA 出力にフルレンジスピーカーを接続する：**

「REAR/REAR」に設定します。

④ **リアスピーカー出力と RCA 出力にサブウーファースピーカーを接続する：**

「SUB.W/SUB.W」に設定します。

1 初期設定メニューから[SP-P/O MODE]を選ぶ（*→P28*）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。

[REAR/SUB.W] ⇔ [REAR/REAR] ⇔ [SUB.W/SUB.W]

Bluetooth のソフトウェアを更新する（MVH-590 のみ）

本機の Bluetooth ソフトウェアを更新できます。

Bluetooth のソフトウェアについての情報や更新についての詳細は、パイオニアのホームページをご覧ください。

- 更新作業中は、本機の電源を OFF にしないでください。

1 初期設定メニューから [S/W UPDATE]を選ぶ（→P28）

更新が開始します。

更新が完了すると、「COMPLETED」と表示されます。

システムメニューを切り換える

1 システムメニューを表示する

ロータリーコマンダーを押します。

ロータリーコマンダーを回して SYSTEM を選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

[CLOCK SET] ⇔ [12H/24H] ⇔ [AUX] ⇔ [DIMMER] ⇔ [BT AUDIO]※ ⇔ [BT MEM CLEAR]※ ⇔ [BT VERSION]※ ⇔ [APP CONN.SET]※

※ MVH-590 のみ

- 車によっては、手順 2 で「DEMO OFF」と表示される場合があります。この表示がされるときは、電源が OFF のときや何も操作しないときに、ファンクションやエンタテインメントの画面が表示されます。次の手順で「DEMO OFF」を非表示にしてください。
  1. 手順 2 で DEMO OFF に切り換え、ロータリーコマンダーを押す
  2. ロータリーコマンダーを回して YES に切り換える
  3. ロータリーコマンダーを押す

■時計を合わせる

本機のディスプレイに表示する時計の調整ができます。

1 システムメニューから[CLOCK SET]を選ぶ（→P29）

2 時または分を選ぶとき

ロータリーコマンダーを押します。

3 時刻を合わせる

ロータリーコマンダーを回します。

分を調節すると、0 秒からカウントが始まります。

■時計表示を切り換える

12 時間表示、24 時間表示を切り換えます

1 システムメニューから[12H/24H]を選ぶ（→P29）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに切り換わります。

[12H] ⇔ [24H]

■外部機器（AUX）の音声を聞けるようにする

本機にポータブル音楽再生機器や VTR などの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。

- 本機に外部機器を接続するには、本機前面にある AUX 入力端子に、3.5 mm φステレオミニジャックを差し込みます。

1 システムメニューから[AUX]を選ぶ（→P29）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

- 工場出荷時は、AUX が ON に設定されています。AUX を使用しない場合は、OFF に設定してください。

■夜間のディスプレイの明るさを切り換える

夜間にディスプレイがまぶしく感じられる場合、ディマー設定を ON にすると便利です。

1 システムメニューから[DIMMER]を選ぶ（→P29）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに［ON］⇔［OFF］が切り換わります。

• ⮌/DIMMER ボタンを長く押しても切り換えられます。

■ BT AUDIO ソースを ON にする（MVH-590 のみ）

Bluetooth 対応機器を接続して BT AUDIO ソースとして使用する場合、設定を ON にします。

1 システムメニューから[BT AUDIO]を選ぶ（→P29）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに［ON］⇔［OFF］が切り換わります。

■ 登録した Bluetooth 機器のデータを消去する（MVH-590 のみ）

本機に登録した Bluetooth 対応機器から転送されたデータなどを削除できます。この機能では、以下の情報が消去されます。

・履歴データ（不在着信履歴、発信履歴、着信履歴）
・Bluetooth 登録機器リスト
・編集したパスコード
・プリセット登録 1-6

1 システムメニューから[BT MEM CLEAR]を選ぶ（→P29）

確認画面が表示されます。

消去をやめる場合は、ロータリーコマンダーを回して CANCEL にします。

2 消去する

ロータリーコマンダーを押します。

消去が完了すると、「CLEARED」と表示されます。

• 消去できない場合は、「ERROR」と表示されます。

■ Bluetooth のソフトウェアのバージョンを確認する（MVH-590 のみ）

1 システムメニューから[BT VERSION]を選ぶ（→P29）

本機の Bluetooth ソフトウェアのバージョンが表示されます。

■ APP ソースで接続する機器を選ぶ（MVH-590 のみ）

• APP ソースでは、設定できません。

1 システムメニューから[APP CONN.SET]を選ぶ（→P29）

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに切り換わります。

［WIRED］⇔［BLUETOOTH］

機能名	動作内容
WIRED	iPhone/iPod touch を接続（ケーブル接続）
BLUETOOTH	スマートフォンを接続（Bluetooth 接続）

便利な機能

画面例（MIXTRAX画面）

MIXTRAX

MIXTRAX 機能を ON ／ OFF する

MIXTRAX とは、さまざまな効果音を加えて、曲間をアレンジする技術です。ノンストップで音楽を楽しむことができます。また、再生する曲に合わせてディスプレイやボタンの表示が自動的に変化し、さまざまな演出効果を楽しむことができます。

本機能を使うときは、3/MIX ボタン *(→ P9)* を押して、ON ／ OFF を切り換えます。

- 本機能を ON にすると、再生する曲に合わせてディスプレイやボタンの表示が自動的に変化します。運転の妨げになるような場合は、本設定を OFF にしてください *(→ P31)*。
- 本機能は、USB（MTP 接続を除く）、iPod の曲で使用できます。ただし、iPod のオーディオブックや Podcast は、効果音を加えて曲間をアレンジする機能に対応していません。
- コントロールモードを iPod モードに設定しているときは使用できません *(→ P17)*。
- 曲を切り換えるときも自動で音声が加わり、無音状態がなくなります。

MIXTRAX メニューを切り換える

1 MIXTRAXメニューを表示する

電源 ON の状態で、ロータリーコマンダーを押します。

ロータリーコマンダーを回して MIXTRAX を選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

[SHORT PLAYBCK] ⇔ [MIX PATTERN] ⇔ [DISPLAY FX] ⇔ [CUT IN FX]

■曲の再生時間を切り換える

設定した時間だけ、曲が再生されます。

1 MIXTRAXメニューから[SHORT PLAYBCK]を選ぶ *(→P31)*

2 再生時間を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。

[1.0 MIN] ～ [3.0 MIN] ⇔ [OFF]

再生時間は、1.0 MIN（分）、1.5 MIN（分）、2.0 MIN（分）、2.5 MIN（分）、3.0 MIN（分）の中から選べます。

■表示パターンを切り換える

再生する曲に合わせて、ディスプレイの表示パターンを選びます。

1 MIXTRAXメニューから[MIX PATTERN]を選ぶ *(→P31)*

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。

[SOUND LEVEL] ⇔ [LOW PASS] ⇔ [RANDOM]

機能名	動作内容
SOUND LEVEL	再生する曲のレベルに応じて変化する
LOW PASS	再生する曲の低音レベルに応じて変化する
RANDOM	SOUND LEVEL と LOW PASS からランダムに選択する

■画面演出を設定する

MIXTRAX 専用の画面演出を行います。通常の画面表示は行いません。

1 MIXTRAXメニューから[DISPLAY FX]を選ぶ *(→P31)*

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを回すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

■効果音を設定する

手動で曲を切り換えるときに効果音を出します。

1 MIXTRAXメニューから[CUT IN FX]を選ぶ *(→P31)*

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

ボタンの色を選ぶ（MVH-590 のみ）

1 イルミネーションメニューを表示して、[COLOR]を表示する

電源 ON の状態で、ロータリーコマンダーを押します。

ロータリーコマンダーを回して ILLUMINATION を選び、押します。

2 色を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに切り換わります。

［BLU］⇔［RED］

音声認識機能を使う（MVH-590 のみ）

音声認識機能を搭載した iPod を Bluetooth 接続している場合、本機の音声認識機能を使って音楽を再生したり、電話をかけることができます。

- 音声認識について詳しくは、iPod の説明書をお読みください。
- 操作方法は、ご使用の iPod によって異なる場合があります。
- 発話どおり認識されたことを確認してください。
- 風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因になります。車の窓は閉めてください。
- マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付けてください。
- 音声入力開始操作後、すぐに発話すると正しく認識できない原因になります。
- ゆっくり、はっきりと発話しないと、正しく認識できない原因になります。

1 音声認識モードに入る

ロータリーコマンダーを長く押します。

「VOICE CTRL」と表示され、音声認識モードに入ります。

- iPod を操作して音声認識モードに入ることもできます。

2 音声入力を開始する

ロータリーコマンダーを押して、本機のマイクに向かって発話します。

音声指示した動作が実行されます。

- 繰り返し音声入力を行うときは、もう一度ロータリーコマンダーを押します。

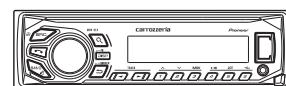
接続／取り付け

接続／取り付け上のご注意

- 接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- 車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続／取り付け部品を確認する

■本体関係

本体 × 1

※ イラストは MVH-590 を示します。

トラスネジ
（5 mm × 8 mm）× 4

皿ネジ
（5 mm × 9 mm）× 4

■コード関係

電源コード × 1

■マイク関係（MVH-590 のみ）

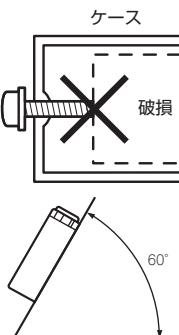
ハンズフリー用マイク × 1

両面テープ
（15 mm × 12 mm）× 1

取り付けの前に知ってほしいこと

■取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できずに外れたりして危険です。

- 本機の性能を確実に発揮するために、水平に対して 60 度以内の角度で取り付けてください。

■取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

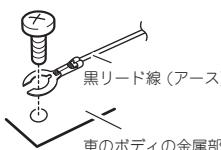
- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、D サイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

■接続上のご注意

- 本機の黒リード線(アース)を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。

- 本機は、エンジンスイッチに ACC がない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチに ACC がある車でご使用ください。
- 赤リード線(アクセサリー電源)は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプには BPTL という回路を使用しています。スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの(－)リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ωから 8 Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線(アース)は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青 / 白リード線(アンテナコントロール)に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

> アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。(ラジオが ON にならないと、ブースターが ON にならない車もあります。)詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

■コネクター着脱のポイント

- コネクターは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

バッテリー交換時のご注意

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON(または ACC)にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットチャンネル *(→ P14)*、時計 *(→ P29)*、オーディオ調整 *(→ P25)* などの設定内容は消去されます。消去された場合は、再設定してください。オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。

接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合

アンテナコントロール
アンテナをコントロールするために使用します。
(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)
下記車両については未接続状態の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。
- ●オートアンテナ車の場合：
  車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
  ※アンテナを下げる場合は、電源OFFにしてください。
- ●ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合：
  車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。

アクセサリー電源
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

＋バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

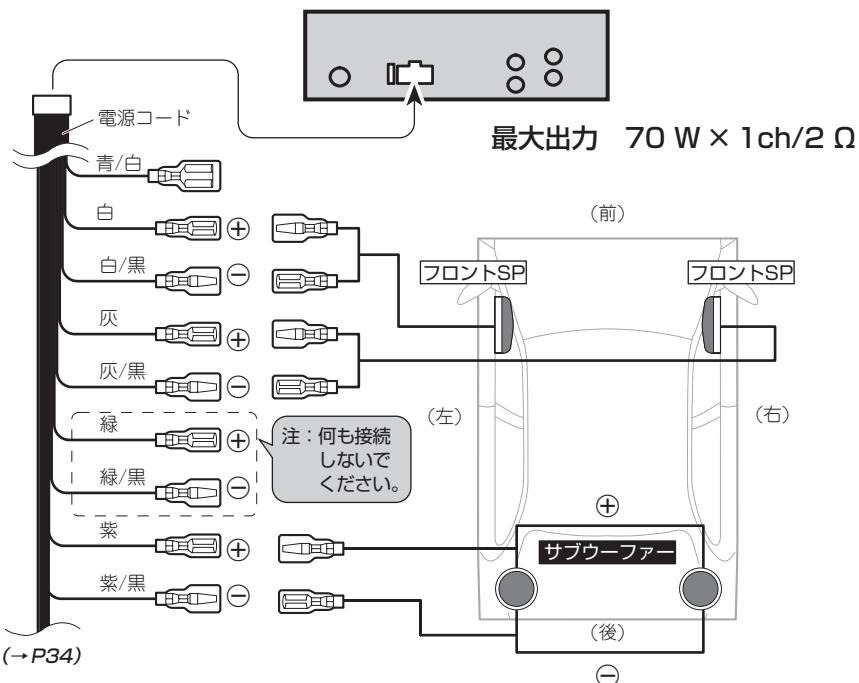
注：赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

注：・スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。
・リアスピーカー出力とRCA出力に接続するスピーカーに合わせて、SP-P/O MODE（→*P28*）の設定を切り換えてください。

■本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合（1）

電源コード
青/白
白
白/黒
灰
灰/黒
緑
緑/黒
紫
紫/黒
注：何も接続しないでください。
最大出力　50 W × 1ch/4 Ω
（前）
フロントSP
フロントSP
（左）
（右）
サブウーファー
（後）
（→P34）

■本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合（2）

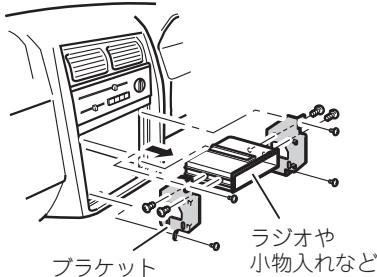
■本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合（3）

ここでは、サブウーファー（4 Ω）を並列に接続して
サブウーファー（2 Ω）として使用しています。

本体を取り付ける

トヨタ車、日産車への取り付け例です。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

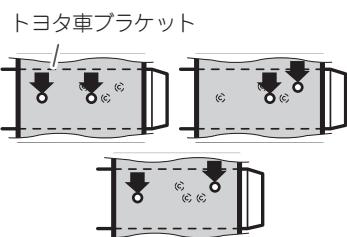
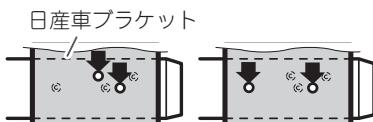
ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

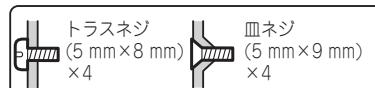
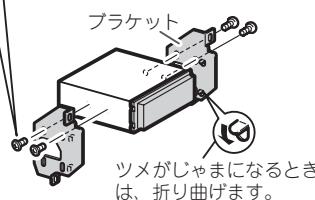
そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。

- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合

日産車の場合

3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ 2 カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。

■フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

フロントパネルを取り外す（デタッチ）ことができます。操作方法は、*P8* をご覧ください。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続／取り付けをもう一度確認する

- 接続／取り付けに誤りがないか、各コネクターは確実に接続されているかもう一度、目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかける

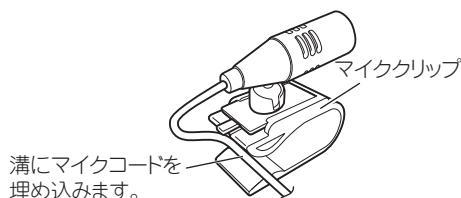
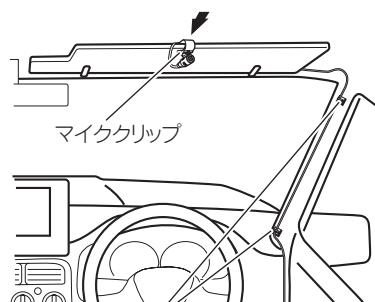
3 本機の動作を確認する

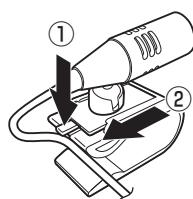
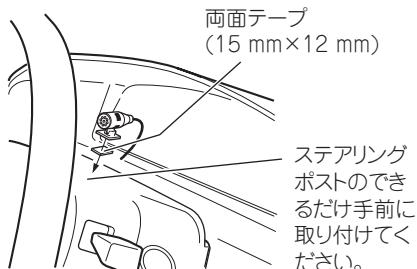
確認後にセットアップメニューが自動で起動しますので、設定を行ってください *(→ P7)*。

ハンズフリー用マイクの取り付け（MVH-590 のみ）

- ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください

サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップにマイクコードを埋め込む

2 サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける

ステアリングポストに取り付ける場合

1 マイククリップを取り外す

2 ステアリングポストにマイクを取り付ける

マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、下図のように矢印の方向に動かして調節します。

再生可能なメディアとファイルについて

フォーマット	拡張子	対応メディア
		USB
WMA	.wma	○
MP3	.mp3	○
WAV	.wav	○

WMA とは？ 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7 以降を使用してエンコードできます。

MP3 とは？ 「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3 は、音声データを元のデータの約 1/10 のサイズに圧縮できます。

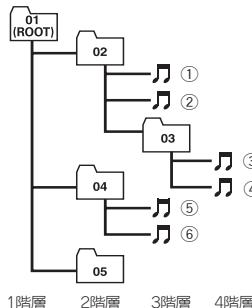
WAV とは？ 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

コーデック		フォーマット		
		WMA	MP3	WAV
サンプリング周波数		32 kHz ～ 48 kHz	8 kHz ～ 48 kHz ※	16 kHz ～ 48 kHz（LPCM 形式）22.05 kHz ～ 44.1 kHz（MS ADPSM 形式）
ビットレート	CBR	48 kbps ～ 320 kbps	8 kbps ～ 320 kbps	—
	VBR	48 kbps ～ 384 kbps	8 kbps ～ 320 kbps	—

※サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応。

- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- この製品は、以下の形式には対応していません。
  - Windows Media Audio Professional（5.1ch）
  - Windows Media Audio Lossless（可逆圧縮）
  - Windows Media Audio Voice
- MTP 接続した Android 機器では、WAV ファイルは再生できません。
- ID3 tag の Ver.1.0 ／ 1.1 ／ 2.2 ／ 2.3 ／ 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i（MP3 interactive）フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- iTunes Store で購入された楽曲（.m4p）は、USB 機器に記録して再生できません。
- パーティションを作った USB メモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- 本機は、次の形式には対応していません。
  - Apple ロスレス・エンコーダ
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

■メディア内のフォルダー構成について

・メディア内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。（USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります。）

・01 ～ 05 はフォルダー番号の割り当て、①～⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。

・再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、USBメモリーにコピーされた順番になります。

・再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
  1. コンピューターで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
  2. それらのファイルをフォルダーに入れる。
  3. フォルダー単位でメディアにコピーする。
  ただしコンピューターの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。

・WMA/MP3/WAV ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
・ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
・再生できるフォルダー、ファイルの合計は最大 500 フォルダー、最大 15 000 ファイルです。

USB 機器について

・USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。

・本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。

・本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■本機との接続について

・USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外（USB 扇風機など）は接続しないでください。

・USB 機器を本機に接続する際は、別売の USB ケーブル（例：CD-U51E）を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり危険です。指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。

・接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。

・USB ハブを使用しての接続には対応していません。

■保管上のご注意

・USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPod について

■本機が対応する iPod

・本機は以下の iPod に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

  Made for
  − iPhone 5：Ver. 6.1.4
  − iPhone 4S：Ver. 6.1.3
  − iPhone 4：Ver. 6.1.3
  − iPhone 3GS：Ver. 5.1.1
  − iPhone 3G：Ver. 4.2.1
  − 第 5 世代 iPod touch：Ver. 6.1.3
  − 第 4 世代 iPod touch：Ver. 6.1.3
  − 第 3 世代 iPod touch：Ver. 5.1.1
  − 第 2 世代 iPod touch：Ver. 4.2.1
  − 第 1 世代 iPod touch：Ver. 3.1.3
  − iPod classic 160G：Ver. 2.0.4
  − iPod classic 120G：Ver. 2.0.1
  − iPod classic：Ver. 1.1.2
  − 第 7 世代 iPod nano：Ver. 1.0.1
  − 第 6 世代 iPod nano：Ver. 1.2
  − 第 5 世代 iPod nano：Ver. 1.0.2
  − 第 4 世代 iPod nano：Ver. 1.0.4
  − 第 3 世代 iPod nano：Ver. 1.1.3
  − 第 2 世代 iPod nano：Ver. 1.1.3
  − 第 1 世代 iPod nano：Ver. 1.3.1

・USB 接続は、iPhone 5/iPhone 4S/iPhone 4/iPhone 3GS/iPhone 3G/iPod touch（第 1 世代から第 5 世代）/iPod classic/iPod nano（第 1 世代から第 7 世代）に対応しています。

・Bluetooth 技術による接続は、iPhone 5/iPhone 4S/iPhone 4/iPhone 3GS/iPhone 3G/iPod touch（第 2 世代から第 5 世代）に対応しています。

・最新の情報についてはカロッツェリアホームページ（*http://carrozzeria.jp*）でご確認ください。

・操作方法は、iPod の世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。

・Lightning コネクターを装着した iPod を接続するには、Lightning - USB ケーブル（iPod に同梱）が必要です。

・Dock コネクターを装着した iPod を接続するには、別売の iPod 用 USB 変換ケーブル（例：CD-IU51）が必要です。

・iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
・iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

- 本機と組み合わせて使用する場合、iPod は必ず固定してください。iPod が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPod の取り扱いについて詳しくは、iPod の説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせて使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

■ iPod の設定について

- 音質効果を最適にするために、iPod が接続されると、本機は iPod の EQ の設定を自動的に「FLAT」にします。取り外すと、設定は自動的に元に戻ります。
- iPod を本機に接続してコントロールモードを AUDIO にした場合、iPod のリピートは「OFF」に設定できません。また、iPod のリピートが「OFF」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「ALL」に変更されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

■共通項目

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1 分後再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください *(→ P9)*。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください *(→ P25)*。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください *(→ P25)*。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください *(→ P25)*。
本機が誤動作する。 雑音が入る。	携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。

■ラジオ

症　状	原　因	処　置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください *(→ P9)*。
	放送局の電波が弱い。	ほかの放送局を選局してみてください *(→ P9)*。
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください *(→ P9)*。
FM は受信するが、AM が受信できない。 受信感度が悪い。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください *(→ P34)*。
	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを確実に伸ばしてください。
ラジオ以外でオートアンテナが下がらない。	電源が ON になっている。	電源を OFF にしてください。

■AUX

症　状	原　因	処　置
音が出ない。 音が小さい。	外部機器（AUX）の音量を下げている。	外部機器（AUX）の音量を調節してください。
	抵抗入り AUX ケーブルを使用して接続している。	抵抗なし AUX ケーブルを使用して接続してください。

■BT AUDIO（MVH-590 のみ）

症　状	原　因	処　置
再生できない。	Bluetooth 機器との接続が完了していない。	接続が完了してから操作してください *(→ P21)*。
	Bluetooth 接続した携帯電話を使用中である。	同時に複数の Bluetooth 機器は使用できません。接続を切り換えてください *(→ P21)*。
	Bluetooth 接続した携帯電話を使用後、接続終了動作が正しく行われなかった。	再度接続してください *(→ P21)*。

こんなメッセージが表示されたら

正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

■共通のエラー表示

メッセージ（エラー番号）	原　因	処　置
「AMP ERROR」	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチを OFF → ON してもメッセージが消えない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

■USB のエラー表示

メッセージ（エラー番号）	原　因	処　置
「CHECK USB」	USB コネクターまたは USB ケーブルがショートした。	USB コネクター／ USB ケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。
	規定（→ *P47*）以上の電流を消費する USB 機器を接続した。	接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。次に、対応する USB 機器を接続してください。
「N/A USB」	接続された USB 機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class 対応の USB 機器を接続してください。
「NO AUDIO」	何も収録・保存されていない USB 機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存された USB 機器を接続してください。
	セキュリティー機能付きの USB メモリーを接続した。	USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。
「PROTECT」	USB 機器内のすべてのファイルが Windows Media DRM 9 ／ 10 で保護されている。	Windows Media DRM 9 ／ 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存した USB 機器を接続してください。
「SKIPPED」	Windows Media DRM 9 ／ 10 で保護された WMA ファイルを再生した。	Windows Media DRM 9 ／ 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースを USB に切り換えてください。 車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON する。／接続した USB 機器を一度外してから接続する。／別のソースに切り換える。
「ERROR-23」	接続された USB 機器のフォーマットが、FAT32 /FAT16/FAT12 ではない。	フォーマットが、FAT32、FAT16、または FAT12 の USB 機器を接続してください。

■iPod のエラー表示

メッセージ（エラー番号）	原　因	処　置
「CHECK USB」	iPod は動作するが、充電されない。	iPod ケーブルがショートしていないか（たとえば、金属物にはさまれていないか）確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にするか、iPod を一度脱着してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。 iPod に問題が発生した。	コネクターを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクターを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
「ERROR-16」	iPod ソフトウェアのバージョンが古い。	iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。
	iPod に問題が発生した。	コネクターを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクターを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
「STOP」	選んだプレイリストに曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。
「NO SONGS」	iPod に曲が入っていない。	iPod に曲を転送してください。

■APP のエラー表示

メッセージ（エラー番号）	原　因	処　置
「START UP APP」	iPhone や iPod touch のアプリケーションが再生状態でないときに、本機で APP 操作をしようとした。	iPhone や iPod touch のアプリケーションを再生状態にしてください。再生状態にしないと、本機での操作はできません。

■Bluetooth のエラー表示（MVH-590 のみ）

メッセージ（エラー番号）	原　因	処　置
「ERROR-10」	本機の Bluetooth モジュールに通信できない。	車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。それでも正常に動作しない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
「NO SERVICE」	Bluetooth 機器が本機に接続されていない。	Bluetooth 機器を本機に接続してください。

保証書とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

■修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理の際の本製品のお車からの脱着サービスは弊社で承っておりません。

お車からの脱着については、お買い上げの販売店や取り付け店へご相談ください。お車からの脱着費用につきましてはお客様のご負担となります。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低６年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標／著作権など

● 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。

Ⓣ D13-0129001

● 本機内蔵の通信モジュールは、電波法に基づく設計認証を取得した特定無線設備（YWX-1）を使用しています。

YWX-1

Ⓡ 007-AB0050

●WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

●MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。以下放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。以下放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ
http://www.mp3licensing.com
をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

●iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

●iPod & iPhone

iPod、iPod classic、iPod nano、および iPod touch は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

●Android

Android は Google inc. の商標です。

●Bluetooth

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

主な仕様

●共通部

使用電源： ......DC 14.4 V（10.8 V ～ 15.1 V 使用可能）
アース方式： ....マイナスアース方式
最大消費電流： ....10.0 A
外形寸法
（取付寸法）: .... 178（W）mm × 50（H）mm × 165（D）mm
（ノーズ寸法）: .... 170（W）mm × 46（H）mm × 16（D）mm
質 量： ....0.7 kg（コード含まず）

●アンプ／オーディオ部

最大出力： ....50 W × 4
70 W × 1 ch ／ 2 Ω（for サブウーファー）
定格出力： ....22 W × 4 (50 Hz ～ 15 000 Hz、5 % THD、4 Ω load、Both Channels Driven)
負荷インピーダンス： ....4 Ω
（4 Ω～ 8 Ω使用可能）
プリアウト最大出力レベル： ....2.2 V
出力インピーダンス： .... 1 kΩ
イコライザー（5 バンドグラフィックイコライザー）
周波数： .... 80 Hz ／ 250 Hz ／ 800 Hz ／ 2.5 kHz ／ 8 kHz
調整幅： ....± 12 dB（2 dB step）
ラウドネスコンター............10 dB（100 Hz）6.5 dB（10 kHz）
（ボリューム：－ 30 dB）
サブウーファー出力
周波数： ....50 Hz ／ 63 Hz ／ 80 Hz ／ 100 Hz ／ 125 Hz ／ 160 Hz ／ 200 Hz
スロープ： .... － 12 dB/oct.、－ 24 dB/oct.
調整幅： ....－ 24 dB ～＋ 6 dB
位相： ....NORMAL ／ REVERSE

●USB 部

USB 規格： ....USB 2.0 Full Speed
最大供給電流： .... 1 A
USB クラス： ....マスストレージクラス
ファイルシステム： ....FAT12、FAT16、FAT32
MP3 デコーディングフォーマット： ....MPEG-1 & MPEG-2 AUDIO LAYER-3
WMA デコーディングフォーマット：... Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12（2 ch audio）
(Windows Media Player)
WAV シグナルフォーマット： ....Linear-PCM、MS ADPCM

●FM チューナー部

受信周波数帯域： ....76.0 MHz ～ 90.0 MHz
実用感度： ....9 dBf（0.8 μV/75 Ω、モノラル、S/N：30 dB）
S/N： ....72 dB（IHF-A ネットワーク）
高調波歪率： ....0.3 %（65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ）
0.1 %（65 dBf 入力、1 kHz、モノラル）
周波数特性： ....30 Hz ～ 15 000 Hz（± 3 dB）
ステレオセパレーション： ....45 dB（65 dBf 入力、1 kHz）

●AM チューナー部

受信周波数帯域： ....522 kHz ～ 1 629 kHz
実用感度： ....25 μV（S/N：20 dB）
S/N： ....62 dB（IHF-A ネットワーク）

●Bluetooth 部（MVH-590 のみ）

Bluetooth バージョン： ....Bluetooth 3.0 certified
出力： ....最大 +4 dBm（Power class 2）

●付属品

コードユニット： 1
ハンズフリー用マイク（MVH-590 のみ）： ....1 式
取付ネジ類： ....1 式
取扱説明書： 1
リモコン（MVH-590 のみ）： 1
リチウム電池（CR2025）（MVH-590 のみ）： 1
保証書： 1

- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話·PHS·一部のIP電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話·PHS·IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜 9:30～18:00　土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 **0120-944-111** 【一般電話】**044-572-8101**

ファックス **044-572-8103**

インターネットホームページ *http://pioneer.jp/support/*

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の**「故障かな?と思ったら」**を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜 9:30～18:00　土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 **0120-5-81028**（ゴーパイオニア） 【一般電話】**044-572-8100**

ファックス **0120-5-81029**

インターネットホームページ *http://pioneer.jp/support/repair/*

※家庭用オーディオ／ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜 9:30～18:00　土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 **0120-5-81095** 【一般電話】**044−572−8107**

ファックス **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.047

パイオニア株式会社
〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<KFWF13L> <QRA3028-E>